

令和元年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	水防・防災体験会	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	新潟支所
事業名 (大項目)	災害に対する安全・安心推進事業	分類名 (中項目)	防災意識醸成活動支援事業			事業区分	体験活動等

1. 事業目的

近年は、「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局所的な集中豪雨が多発し、これまでの記録を超える降雨が観測されるなど、大きな水害の発生を招く気象傾向にある。本事業は、大勢の市民が集まる催事開催の機会を捉え、土のうづくりなどの体験やパネル・機械の展示を通して、災害への備えや河川の維持管理に対する意識の高揚を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：信濃川に鯉のぼりをあげる会
 共催：信濃川フェスティバル実行委員会(事務局：新潟市土木総務課)、
 やすらぎレガッタ実行委員会、NST
 協力：国土交通省信濃川下流河川事務所、(一社)北陸地域づくり協会、
 北陸建設振興会議NPO研究委員会、北陸地方防災エキスパート ほか

3. 事業実施概要

全体催事名：信濃川感謝祭2018 やすらぎ堤川まつり
 日時：令和元年5月3日(金)～5日(日) 10:00～17:00
 場所：信濃川やすらぎ堤右岸(新潟市中央区万代地区周辺)
 実施概要：

- ▶ 水防・防災体験会
 - ・土のうづくり及び積み土のう体験
 - ・降雨体験
 - ・水害・防災に関するパネル展示
 - ・アクアプレイ
 - ・Eボート体験乗船 など
- ▶ その他
 - ・やすらぎ堤に鯉のぼり掲揚
 - ・信濃川体験乗船
 - ・フリーマーケット など

参加者(水防・防災体験会)：のべ約2,500人

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

やすらぎ堤は新潟市街地を流れる信濃川の緩傾斜堤で、都市における貴重な親水空間として市民の憩いの場となっている。一方、新潟市内はゼロメートル地帯が広がっており、水害に対する脆弱性を抱えている。こうしたことから、大型連休中ということもあって大勢の市民(家族連れ多数)が集まる機会に、このような取り組みを行うことは市民への啓発にたいへん有効であった。土のうづくり体験、降雨体験やアクアプレイは子供たちの人気を集め、低平地を守る排水機場の役割などパネルの展示・説明を通して治水事業の重要性や防災への認識が深まったと思われる。



土のうづくり／積み土のう体験



降雨体験



水害・防災に関するパネルの展示・説明